

「おびひろ上下水道ビジョン」について

令和元年8月28日
建設文教委員会提出資料

以下の骨子案の内容について、9月の答申に向け、現在公営企業経営審議会において審議されています。

1. 策定の趣旨

帯広市では、上下水道の長期構想として「おびひろ上下水道ビジョン 2010」を策定し、安心でおいしい水道水の安定的な供給や、適切な下水道処理のほか、災害にも強い上下水道を目標に掲げ、取り組んでまいりました。

今後、人口減少による水道料金・下水道使用料の減少や老朽化施設の増加、災害対策などの課題に対処していくため、上下水道事業の将来の方向性を示す基本的な指針として、現ビジョンの計画期間の終了に併せ、新たに「おびひろ上下水道ビジョン（2020-2029）」を策定するものです。

2. 位置付け

本ビジョンは、国の上下水道ビジョンなどを踏まえ、「第七期帯広市総合計画」の上下水道に関する分野計画として策定するものです。

3. 計画期間

本ビジョンの期間は、2020（令和2）年度から2029（令和11）年度までの10年間とします。

なお、社会情勢の著しい変化や自然災害などによって、本ビジョンに大きな影響が生じた場合には、必要に応じて見直しを行います。

4. 上下水道事業の現状と課題

(1) 水需要の低下

人口減少の進行による水需要の低下に伴い、収入の減少が見込まれる中、業務の効率化などが必要です。

(2) 施設の老朽化

急増する老朽化施設について、中長期的な視点に立った計画的かつ効率的な更新が必要です。

(3) 災害対策

近年、多発する自然災害に対して、計画的な施設の耐震化や雨水管の整備などが必要です。

(4) 人材育成と技術の継承

職員の退職による技術者の減少などに対応するため、専門的な知識と経験を有する人材の育成やこれまでに培ってきた技術の継承が必要です。

(5) 財政状況

収入の減少が見込まれる中、健全で安定的な経営が必要です。

5. 基本理念

人口減少の進行による水需要の低下に伴う水道料金・下水道使用料の減少や施設の老朽化に伴う更新費用の増大、災害対策など、厳しい経営環境が予想される中、市民に信頼される公営企業として、安全で安心できる上下水道の機能を次世代につないでいかなければなりません。

こうしたことから、本ビジョンの基本理念を次のとおり定めます。

未来につなぐ 信頼される 上下水道

6. 目標設定

基本理念の具現化を図るため、目標値を次のとおり定めます。

【水道事業】

指標名	基準値 (H30)	目標値 (R11)
水道管路の耐震適合率	82.8%	90.0%
有収率	90.6%	90.8%

【下水道事業】

指標名	基準値 (H30)	目標値 (R11)
汚水整備率	99.0%	99.2%
雨水整備率	71.4%	76.3%

7. 目指すべき方向・基本方針・実施施策

基本理念に基づき、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの視点から、本ビジョンの目指すべき方向を設定し、7つの基本方針と17の実施施策を定めます。



8. 収支計画

将来にわたって安定的に事業を継続していくため、今後10年間の収支計画を作成します。

(1) 水道事業 (2) 簡易水道事業 (3) 下水道事業 (4) 農村下水道事業

9. 策定スケジュール（予定）

区分	2019（令和元）年度									
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市議会 (建設文教委員会)			新ビジョン について 報告			原案 報告			案 報告	成案
市民							パブリック コメント			
公営企業経営審議会	諮問 総論、各論				→ 答申	原案 報告			案 報告	成案